

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2023年3月期第3四半期 決算説明会資料

発表日:2023年1月31日

出席者

常務取締役 上席執行役員
IR広報・ESG推進室長

角 芳尋
須田 庸夫

目次

2023年3月期第3四半期 全社実績

1. 2023年3月期第3四半期 全社実績
2. 2019～23年3月期第3四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 四半期別営業利益推移
5. 営業利益の増減要因
6. その他の財務情報
7. 戦略的投資の実績
8. 経済指標

2023年3月期第3四半期セグメント実績

9. 2023年3月期第3四半期 セグメント実績
10. 四半期別セグメント実績推移
11. インダストリアル機器部門 2023年3月期第3四半期実績
12. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
13. オフィス機器部門 2023年3月期第3四半期実績
14. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
15. HCR機器部門 2023年3月期第3四半期実績
16. HCR機器部門 四半期別売上高推移
17. 四半期別海外地域別売上高推移
18. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

2023年3月期 業績予想

19. 2023年3月期 全社計画
20. 2023年3月期 セグメント計画
21. 2023年3月期 サブセグメント(事業別)計画
22. 年間配当予想の修正
23. 配当政策 配当性向と純資産配当率
24. 配当政策 1株当たり配当金

参考資料

25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
27. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
28. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
29. 国内・海外機工品事業 製品内訳
30. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2023年3月期第3四半期 全社実績

2023年3月期第3四半期 全社実績

■為替レート

(円)	当期	前期	計画
1ドル	135.71	111.00	132.72
1ユーロ	140.28	130.92	137.13

(単位:百万円、%)

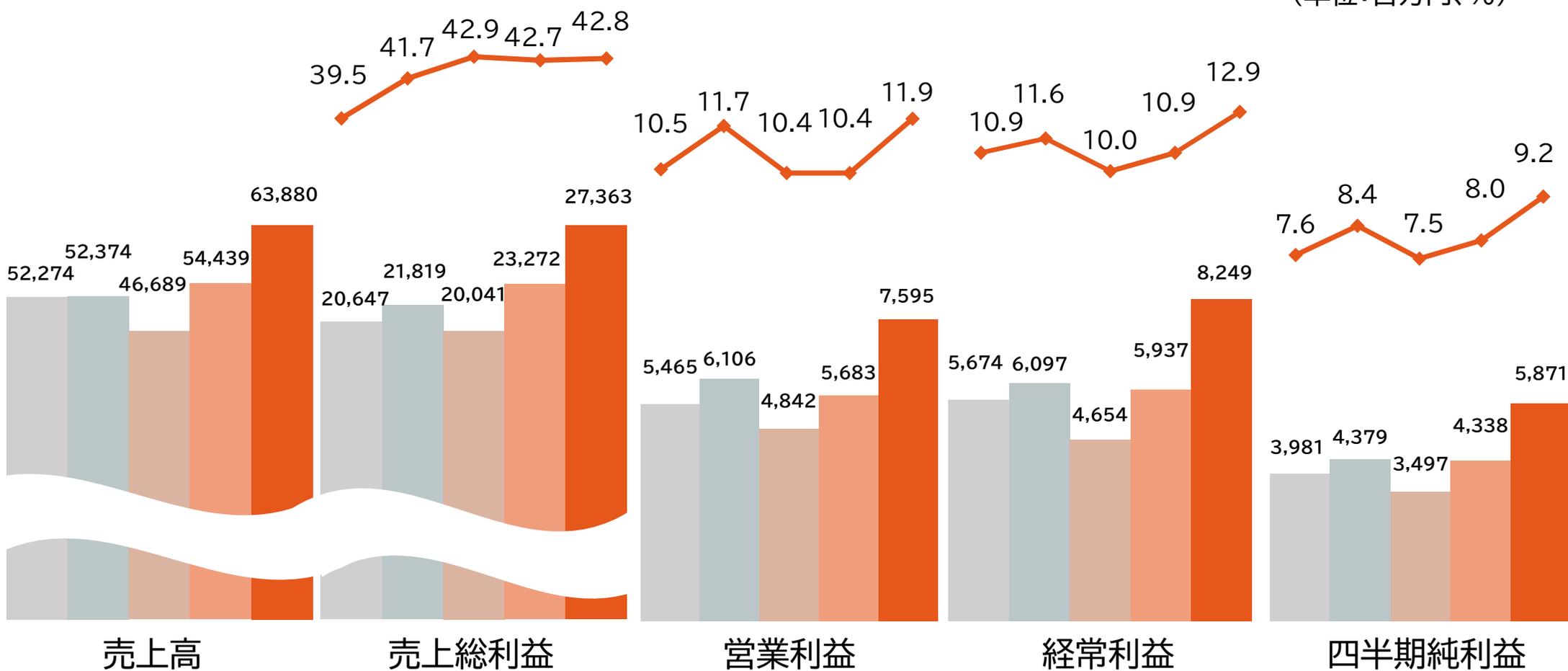
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
売上高	63,880	54,439	+17.3	85,400	74.8
売上総利益	27,363	23,272	+17.6	—	—
同率	42.8	42.7		—	
営業利益	7,595	5,683	+33.6	9,000	84.4
同率	11.9	10.4		10.5	
経常利益	8,249	5,937	+38.9	9,800	84.2
同率	12.9	10.9		11.5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,871	4,338	+35.3	7,200	81.6
同率	9.2	8.0		8.4	
一株当たり四半期純利益	124.14	91.38	—	152.21	—

※2022年10月28日修正計画

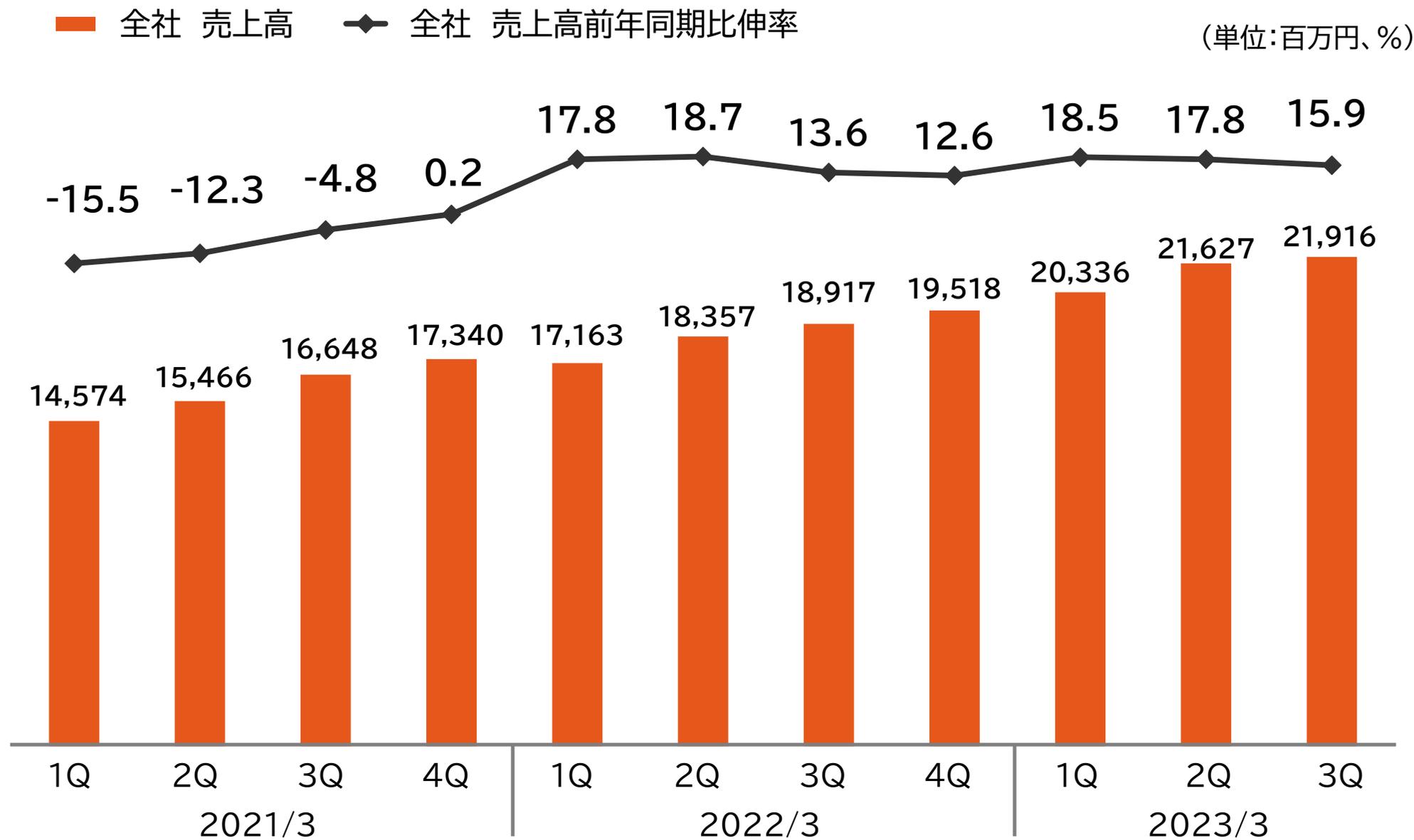
2019~23年3月期第3四半期 全社実績推移

- 2019年3月期3Q
- 2020年3月期3Q
- 2021年3月期3Q
- 2022年3月期3Q
- 2023年3月期3Q
- 同率

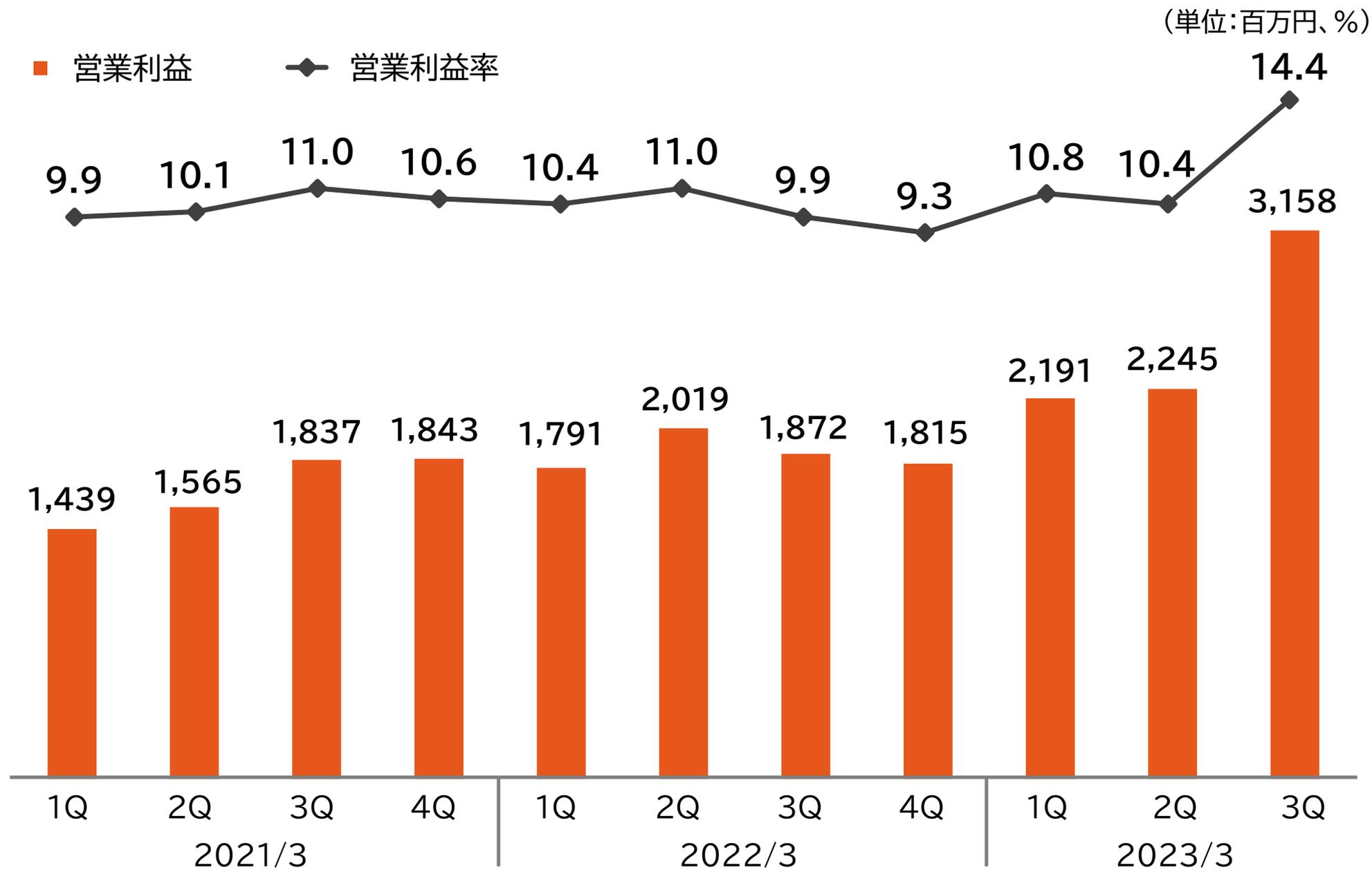
(単位:百万円、%)



四半期別売上高推移

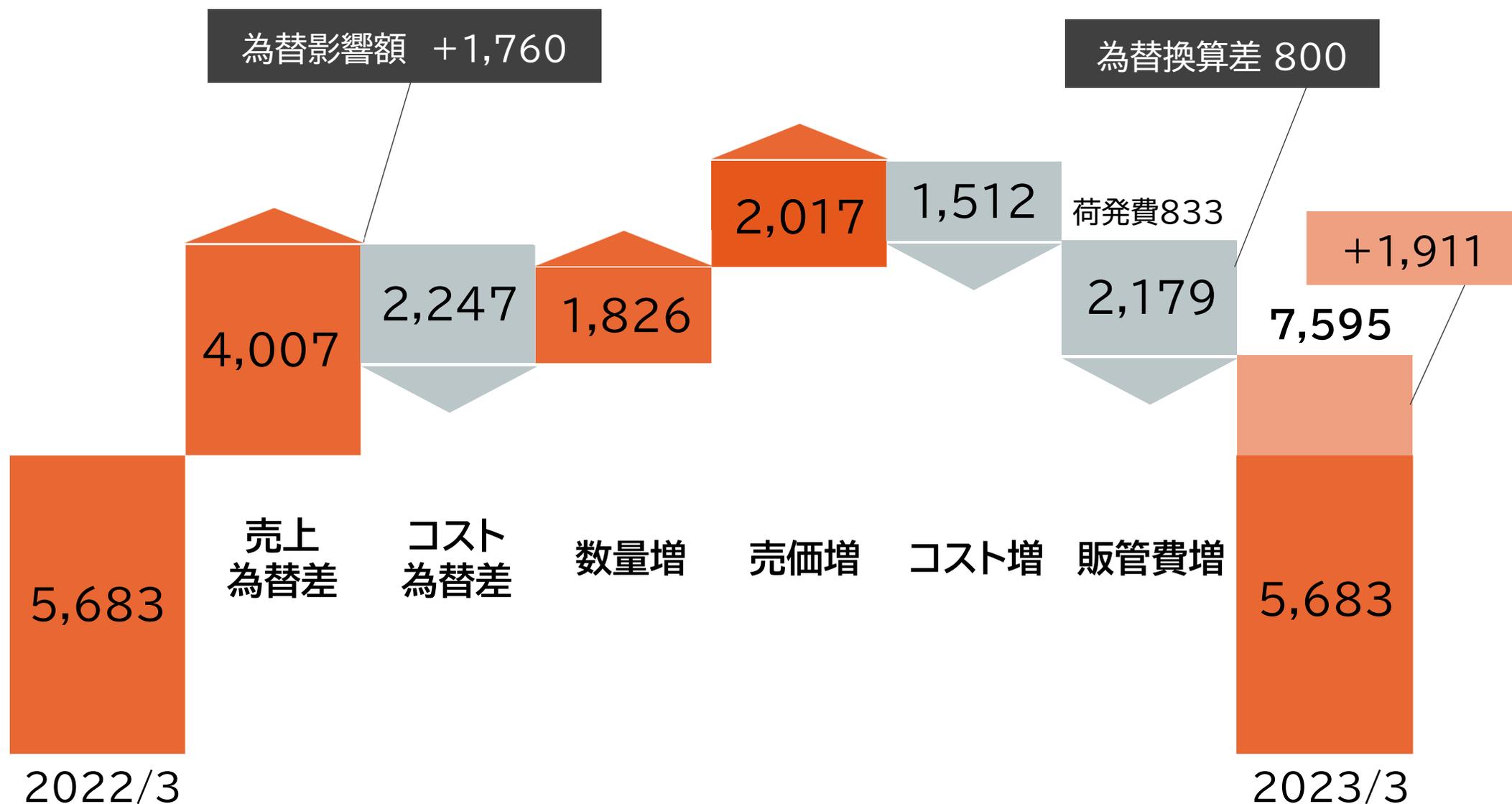


四半期別営業利益推移



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	2023年3月期3Q	2022年3月期3Q	前年差
営業外収支	654	253	+400
営業外収益(為替除き)	364	321	+43
営業外費用(為替除き)	△ 62	△ 68	+6
為替差額	352	1	+351
特別損益	△ 70	△ 14	△ 56
特別利益	14	3	+11
特別損失	△ 85	△ 17	△ 68

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	2023年3月期3Q	2022年3月期3Q	2023年3月期 年間計画	進捗率
設備投資	2,519	3,362	4,464	56.4
減価償却費	2,214	2,087	3,161	70.0
研究開発費	2,740	2,410	3,852	71.1

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円)

2023年3月期	3Q実績	通期計画	進捗率
営業インフラ投資	241	500	48.2%
デジタル技術への投資	101	200	50.5%
開発戦略投資	111	500	22.2%
コーポレート・コミュニケーション投資	36	100	36.0%
合計	488	1,300	37.5%

国内

経済社会活動の正常化が進んだことにより、回復基調を維持。
当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数は、持家が低調であった一方で、賃貸・分譲は底堅く推移。

海外

新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、回復基調を維持。
米国は、金利や建設コスト上昇の影響で住宅着工が低迷したものの、商業ビルや高速道路など建設投資が堅調に推移。
欧州は、大規模公共投資によるインフラ需要が継続。

■ 参考指標

新設住宅着工戸数

・2022年1月～9月は前年同期比+1.0%
(持家△9.7%、賃貸+7.0%、分譲+5.7%)

→機工品事業(木造系)、住環境機器事業にややプラス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2021年10月～2022年6月は前年同期比+12.9%
(事務所+17.3%、店舗△7.0%、工場+40.2%、倉庫+26.4%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は若干の不足状態で推移
→機工品事業(コンクリート系)にプラス影響

為替

・1ドル135.71円、1ユーロ140.28円
(前年:1ドル111.00円、1ユーロ130.92円)

・売上為替感応度(年間換算)
米ドル190百万円、ユーロ80百万円

・営業利益為替感応度(年間換算)
米ドル30百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2022年10月の年率換算値は142.6万戸、11月は140.1万戸、
12月は138.2万戸
(前年10月:155.2万戸、11月:167.8万戸、12月:170.2万戸)

2023年3月期第3四半期セグメント実績

2023年3月期第3四半期 セグメント実績

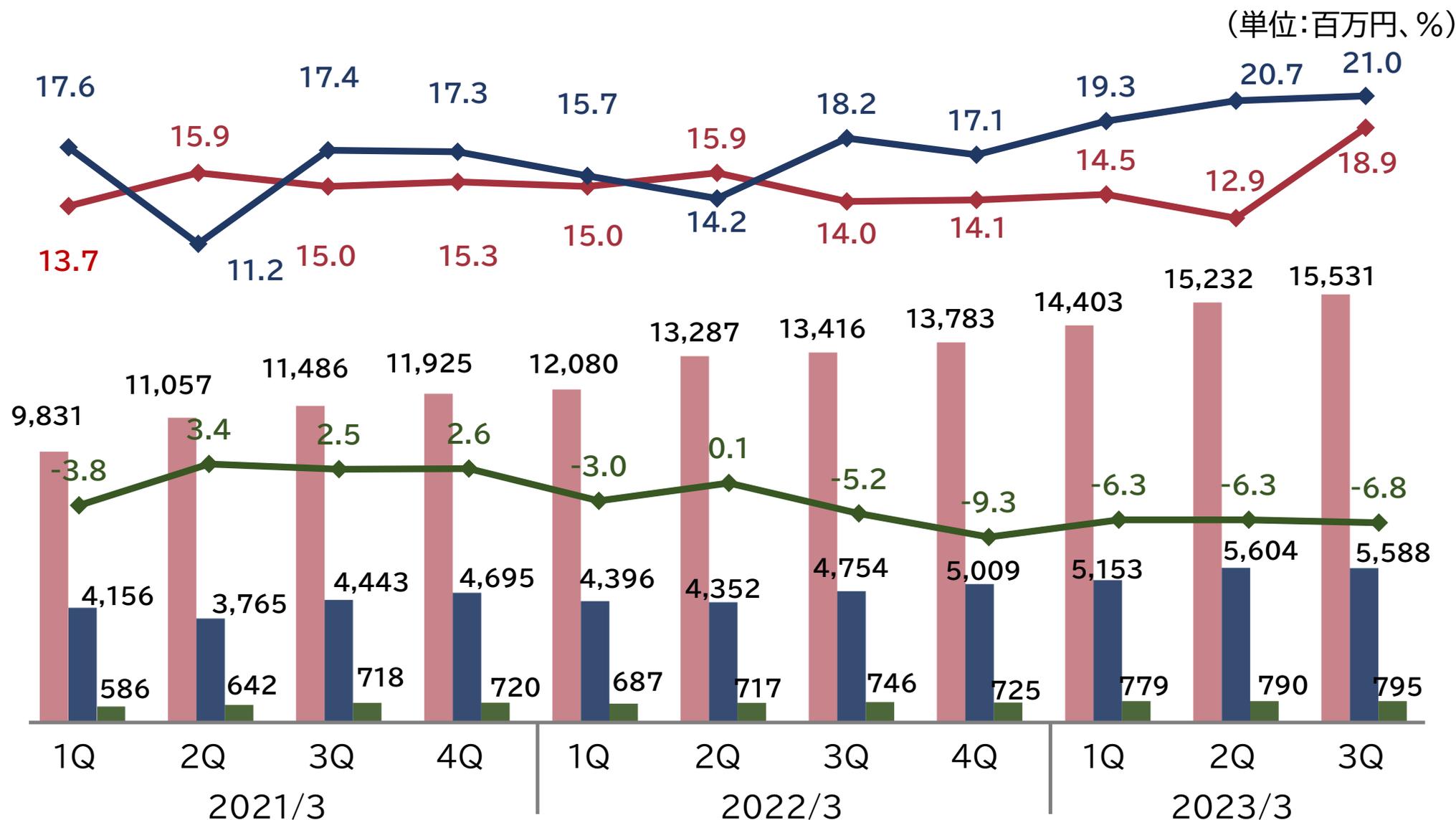
(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
インダストリアル機器部門					
売上高	45,168	38,785	+16.5	60,400	74.8
セグメント利益	6,989	5,800	+20.5	8,750	79.9
セグメント利益率	15.5	15.0		14.5	
オフィス機器部門					
売上高	16,346	13,503	+21.1	21,850	74.8
セグメント利益	3,331	2,176	+53.1	4,230	78.7
セグメント利益率	20.4	16.1		19.4	
HCR機器部門					
売上高	2,365	2,150	+10.0	3,150	75.1
セグメント利益	△ 153	△ 58	-	△200	-
セグメント利益率	△ 6.5	△ 2.7		△6.4	
調整額	△ 2,571	△ 2,234	-	△3,780	
全社計					
売上高	63,880	54,439	+17.3	85,400	74.8
営業利益	7,595	5,683	+33.6	9,000	84.4
営業利益率	11.9	10.4		10.5	

※2022年10月28日修正計画

四半期別セグメント実績推移

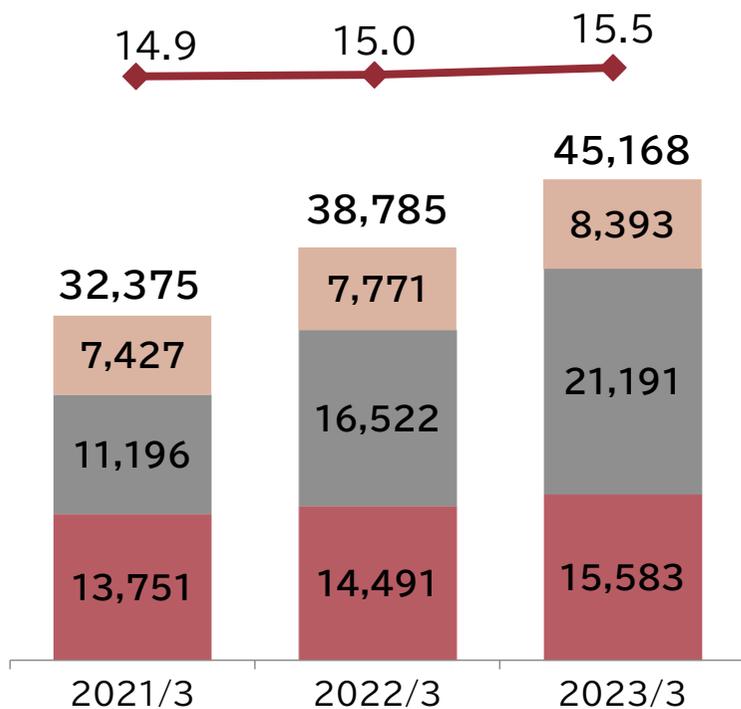
- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- インダストリアル機器部門 セグメント利益率
- オフィス機器部門 セグメント利益率
- HCR機器部門 セグメント利益率



インダストリアル機器部門 2023年3月期第3四半期実績

■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイヤ」



コンプレッサ 新モデル

国内機工品事業

▶ エアコンプレッサ新製品の販売が好調であったほか、生産性向上に対する意識の高まりや提案活動の更なる推進により、鉄筋結束機「ツインタイヤ」とその消耗品の販売が増加しました。

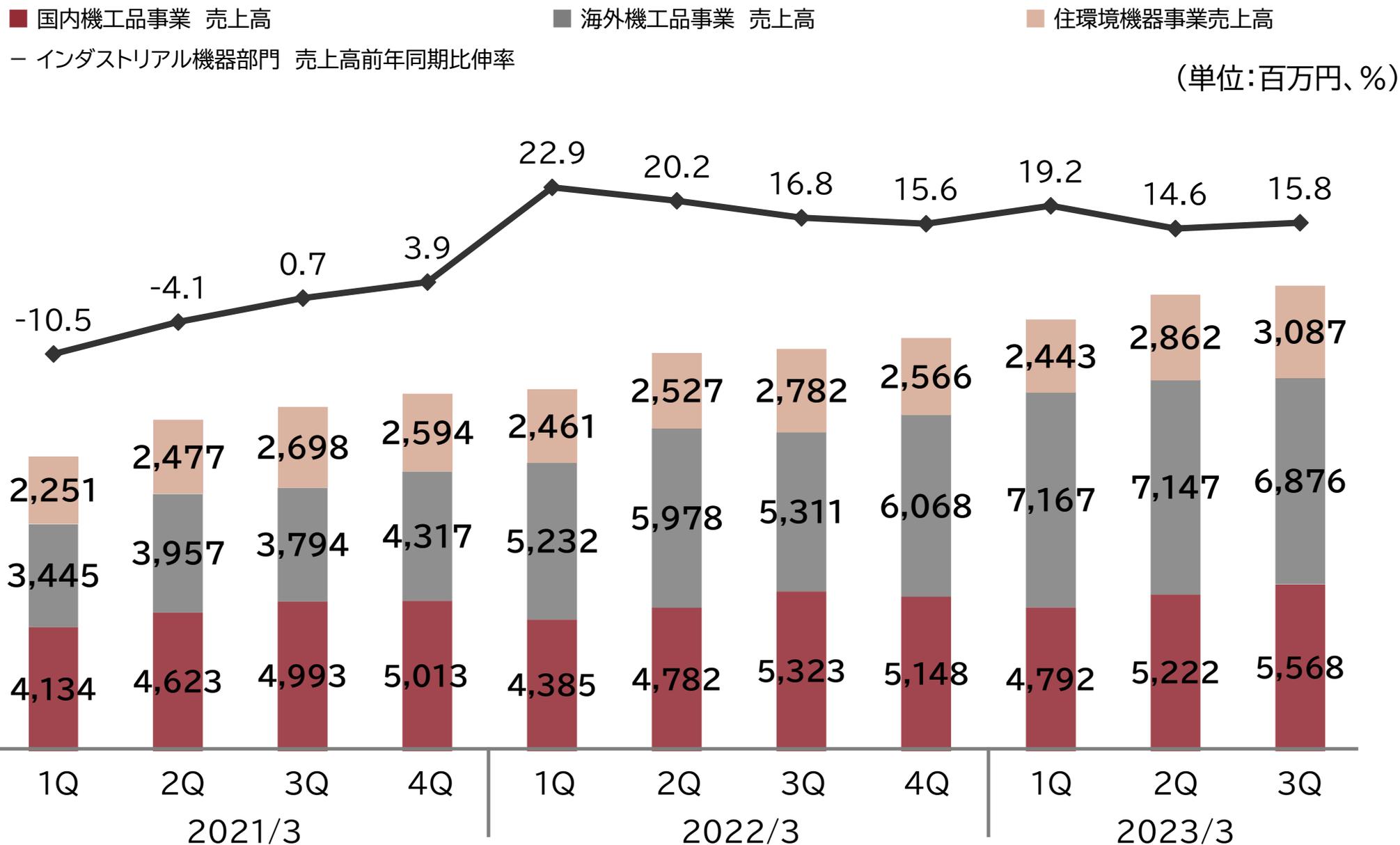
海外機工品事業

▶ 商業ビルや高速道路など非住宅市場の堅調な市況を背景として、鉄筋結束機「ツインタイヤ」及びその消耗品の販売が増加しました。

住環境機器事業

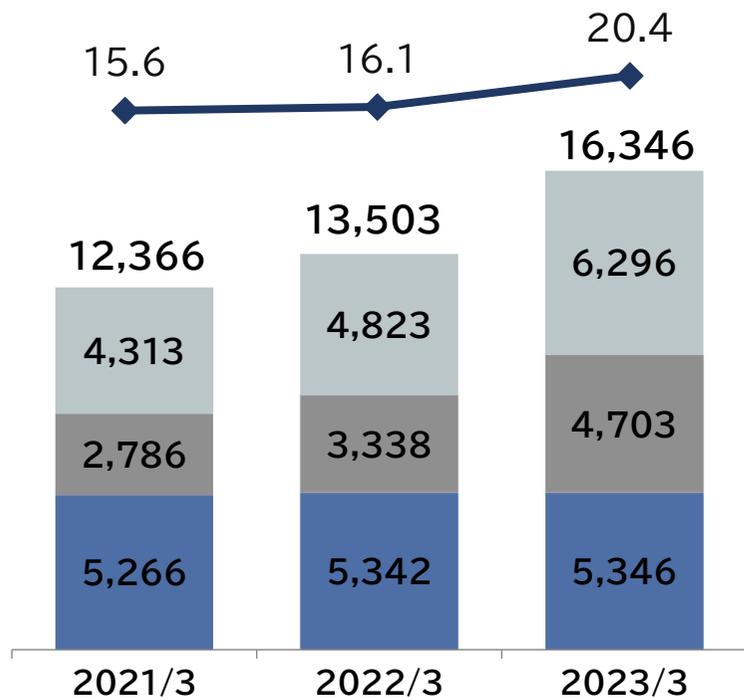
▶ 浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」の販売がリフォーム・リプレースのストック市場と新築住宅市場の双方で伸長しました。

インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移



オフィス機器部門 2023年3月期第3四半期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
■ オートステープラ事業 — セグメント利益率
 (単位:百万円、%)



表示作成機「ビーポップ」



ホッチキス 新製品

国内オフィス事業

▶ WEBセミナーや展示会を活用した導入提案などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加しました。

海外オフィス事業

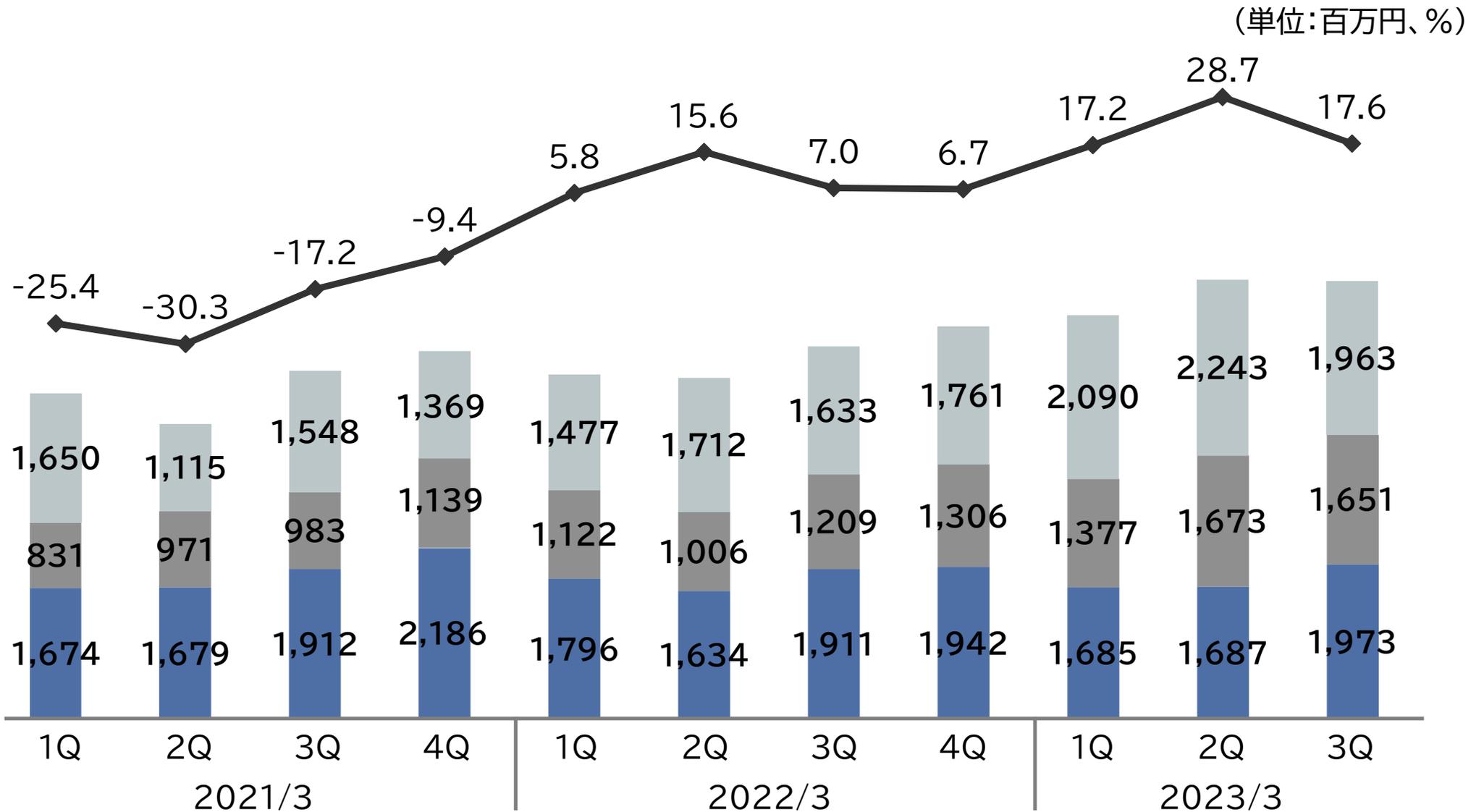
▶ 文具関連製品の販売が東南アジアで増加したことに加え、欧州での営業体制の強化などにより表示作成機「ビーポップ」の販売が伸長しました。

オートステープラ事業

▶ オフィス回帰の動きが進んだことによる取引先からの受注増により、機械・消耗品の販売が堅調に推移しました。

オフィス機器部門 四半期別売上高推移

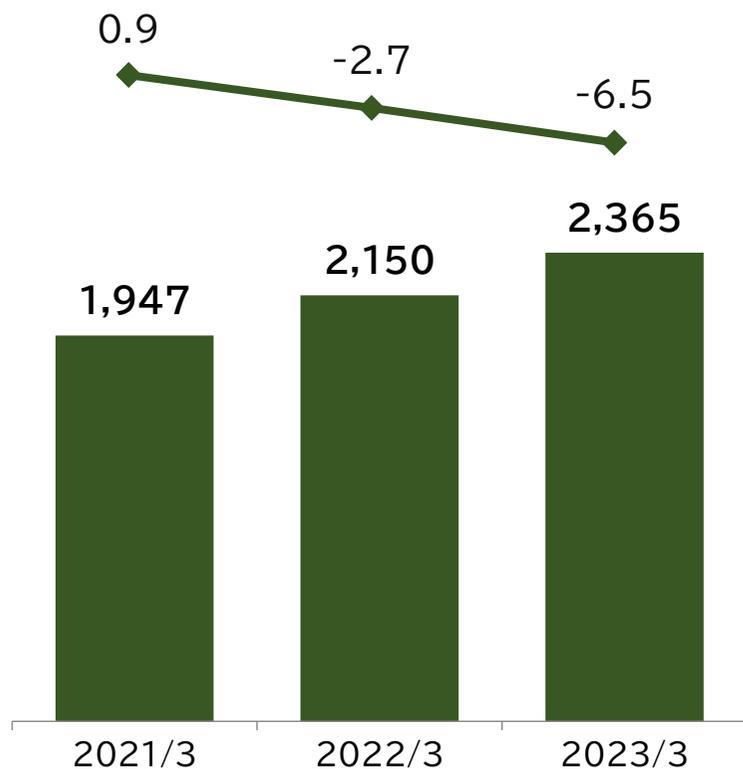
■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高
 - オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率



HCR機器部門 2023年3月期第3四半期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



機能性車いす
「ウェイビットループラス」



多機能車いす
「モダンシリーズ」

HCR機器部門

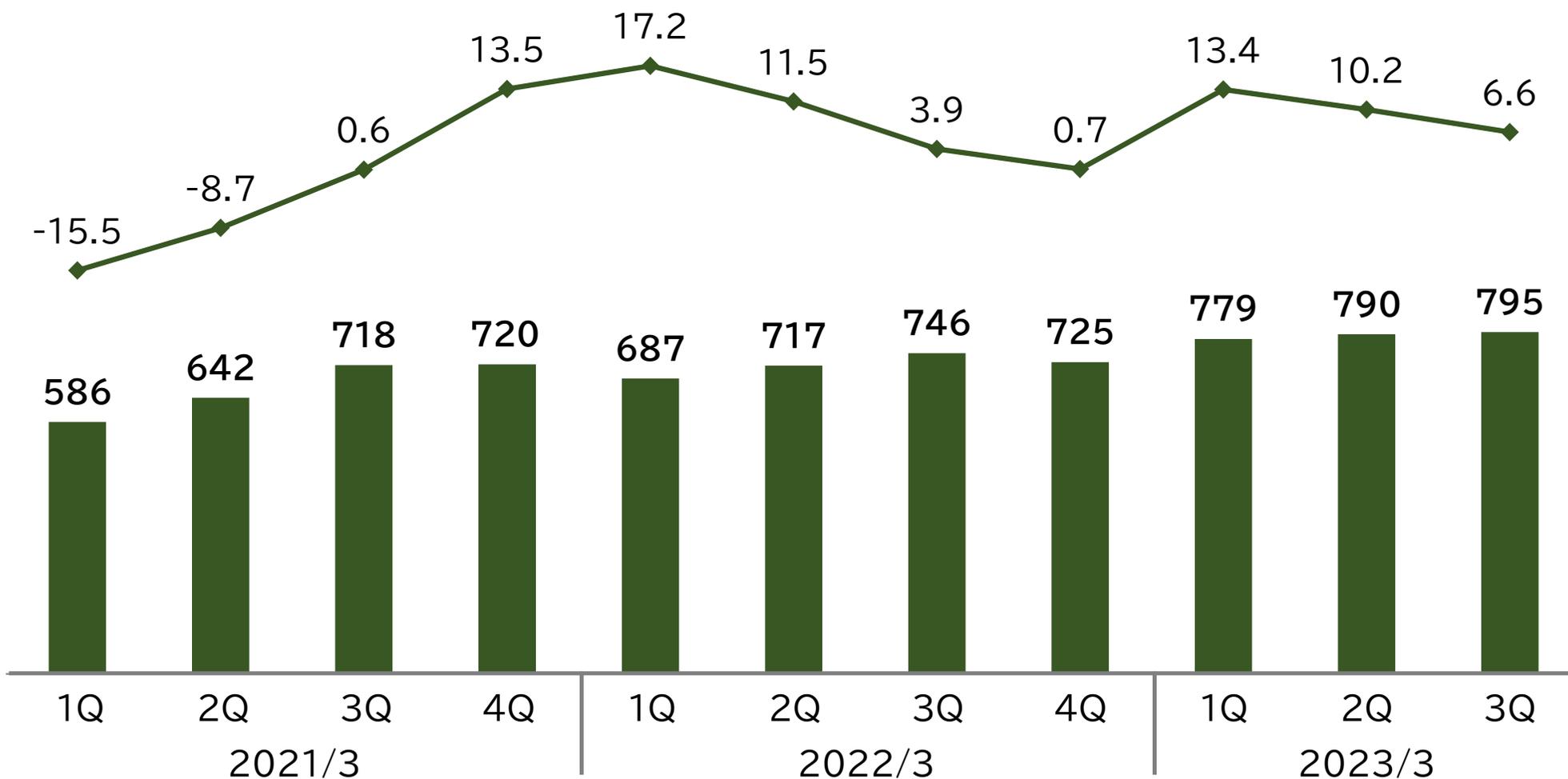
▶ 主力製品「WAVIT」シリーズの認知度が高まり、レンタル市場での高付加価値車いすの販売が増加したことから、増収となりました。一方、円安の影響で、収益性が悪化しました。

HCR機器部門 四半期別売上高推移

■ HCR機器部門 売上高

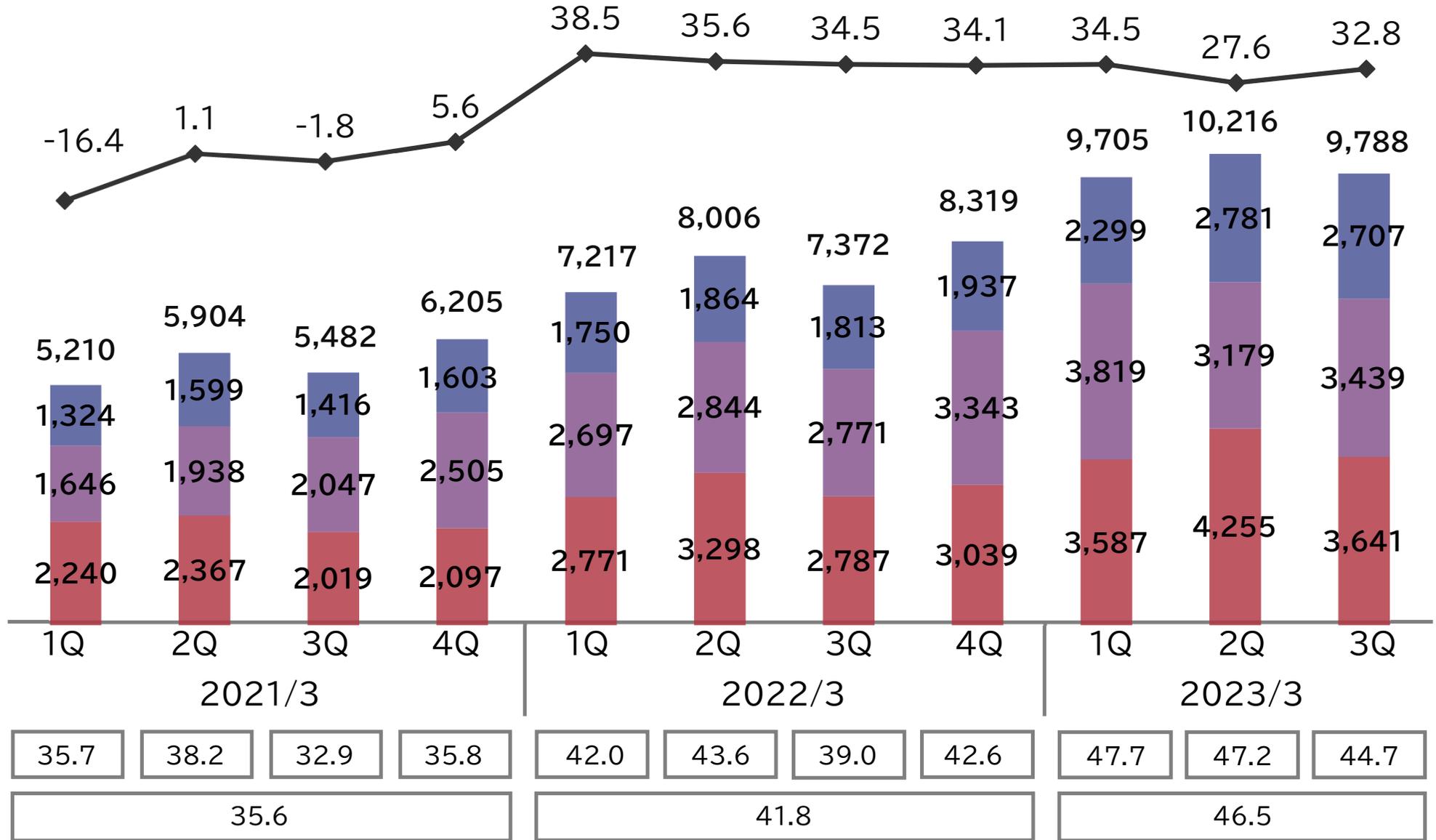
— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高 ■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率 (単位:百万円、%)



海外売上高比率(%)

35.7	38.2	32.9	35.8	42.0	43.6	39.0	42.6	47.7	47.2	44.7
35.6				41.8				46.5		

※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

- ・ 国内・海外コンクリート構造物向け工具売上 **215億円**（前年+26.8%の伸長）（計画に対する進捗率83.0%）
- ・ コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 **+45.2%増**

市場における機械の累計稼働台数が増加、それにともない消耗品が引き続き伸長

<海外>

〔北米〕

- ・ ディーラーからのセールアウトは堅調。一方で、消耗品（タイヤ）の増産対応と物流の安定により、ディーラーの在庫はやや過剰感。

〔欧州〕

- ・ 代理店やディーラーのセールアウトは堅調だが、不透明な景気見通しから、代理店やディーラーは在庫を圧縮傾向。

〔共通〕

- ・ 金利の上昇を受けて住宅市場は低迷。商業ビルや高速道路など、堅調な非住宅市場へのアプローチを強化。

<国内>

- ・ 現場の人手不足は継続。生産性向上に対する意識が高まっていることに加えて、営業体制を強化した効果もあり、機械・消耗品の販売が増加。



2023年3月期 業績予想

■為替レート

(円)	当期		前期
	通期想定	4Q想定	通期実績
1ドル	134.28	130.00	112.08
1ユーロ	138.96	135.00	130.56

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/1/31)	前回計画 (2022/10/28)	差額	前期実績	増減率
売上高	85,400	85,400	—	73,958	+15.5
営業利益 同率	9,800 11.5	9,000 10.5	800	7,498 10.1	+30.7
経常利益 同率	10,150 11.9	9,800 11.5	350	8,282 11.1	+22.5
親会社株主に帰属する当期純利益 同率	7,250 8.5	7,200 8.4	50	6,090 8.2	+19.0
1株当たり当期純利益(円)	153.27	152.21	1.06	128.40	
ROE	8.4	8.3	0.1P	7.5	

・業績が堅調に推移していることに加えて、荷発費の上昇が落ち着くなど、2022年10月28日に公表した予想値を上回る見込みとなりましたので、通期の計画を修正しました。

2023年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/1/31)	前回計画 (2022/10/28)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	60,550	60,400	150	52,569	+15.2
セグメント利益	9,550	8,750	800	7,739	+23.4
セグメント利益率	15.8	14.5		14.7	
オフィス機器部門					
売上高	21,700	21,850	△150	18,513	+17.2
セグメント利益	4,190	4,230	△40	3,034	+38.1
セグメント利益率	19.3	19.4		16.4	
HCR機器部門					
売上高	3,150	3,150	-	2,875	+9.5
セグメント利益	△160	△200	40	△126	-
セグメント利益率	△5.1	△6.4		△4.4	
調整額	△3,780	△3,780	-	△3,148	
全社計					
売上高	85,400	85,400	-	73,958	+15.5
営業利益	9,800	9,000	800	7,498	+30.7
売上高営業利益率	11.5	10.5		10.1	

2023年3月期 サブセグメント(事業別)計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/1/31)	前回計画 (2022/10/28)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
セグメント売上高	60,550	60,400	150	52,569	+15.2
国内機工品	21,300	21,000	300	19,640	+8.5
海外機工品	27,950	28,100	△150	22,590	+23.7
住環境機器	11,300	11,300	-	10,338	+9.3
セグメント利益	9,550	8,750	800	7,739	+23.4
セグメント利益率	15.8	14.5		14.7	

	今回計画 (2023/1/31)	前回計画 (2022/10/28)	差額	前期実績	増減率
オフィス機器部門					
セグメント売上高	21,700	21,850	△150	18,513	+17.2
国内オフィス	7,650	7,650	-	7,284	+5.0
海外オフィス	6,100	6,000	100	4,644	+31.3
オートステープラ	7,950	8,200	△250	6,584	+20.7
セグメント利益	4,190	4,230	△40	3,034	+38.1
セグメント利益率	19.3	19.4		16.4	

配当政策及び業績予想に基づき、1株当たり年間配当予想を64円から74円へ修正

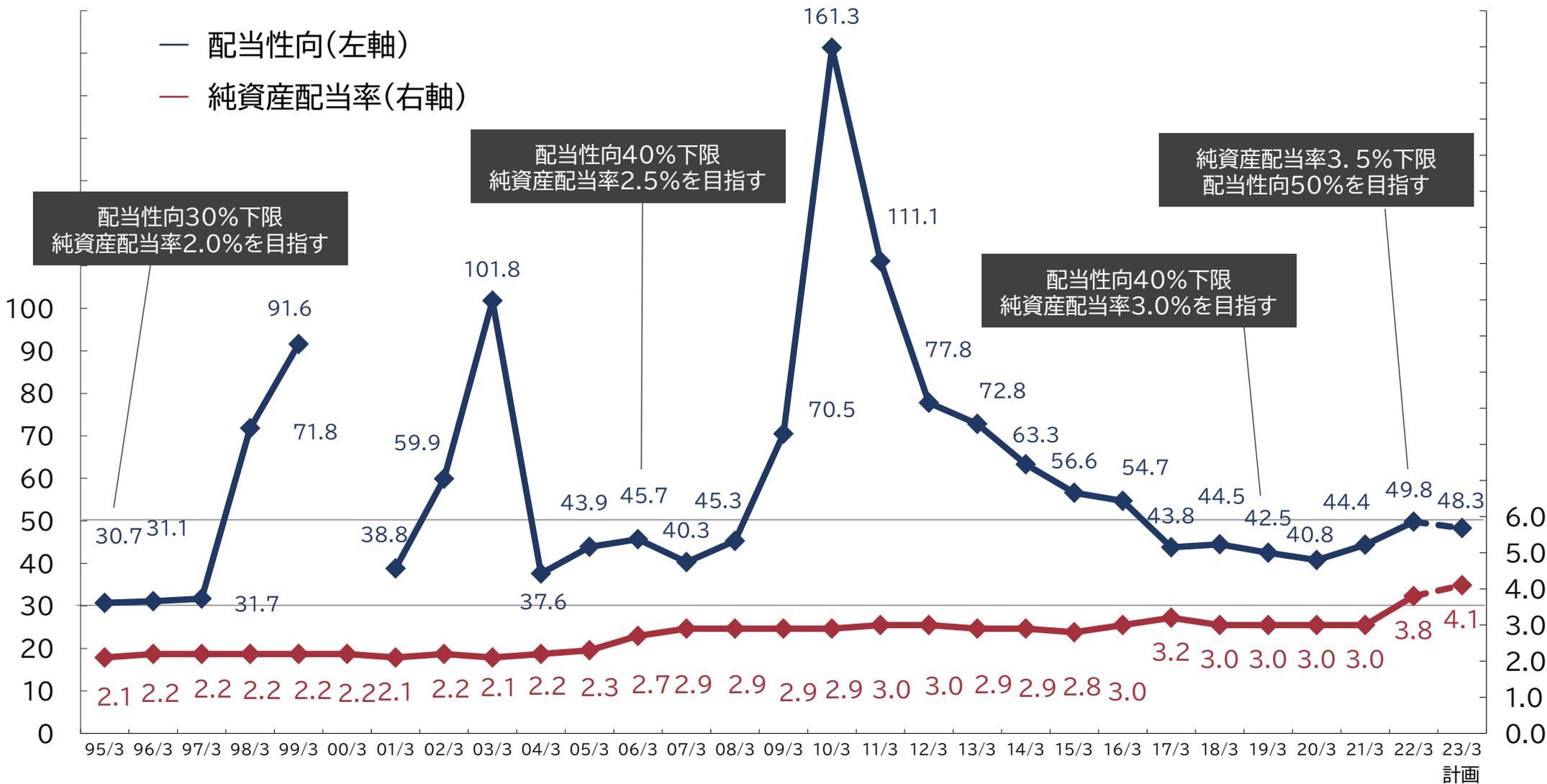
配当政策

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	64.00	64.00
今回予想	—	74.00	74.00
前期実績 (2022年3月期)	—	64.00	64.00

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

(単位:%)

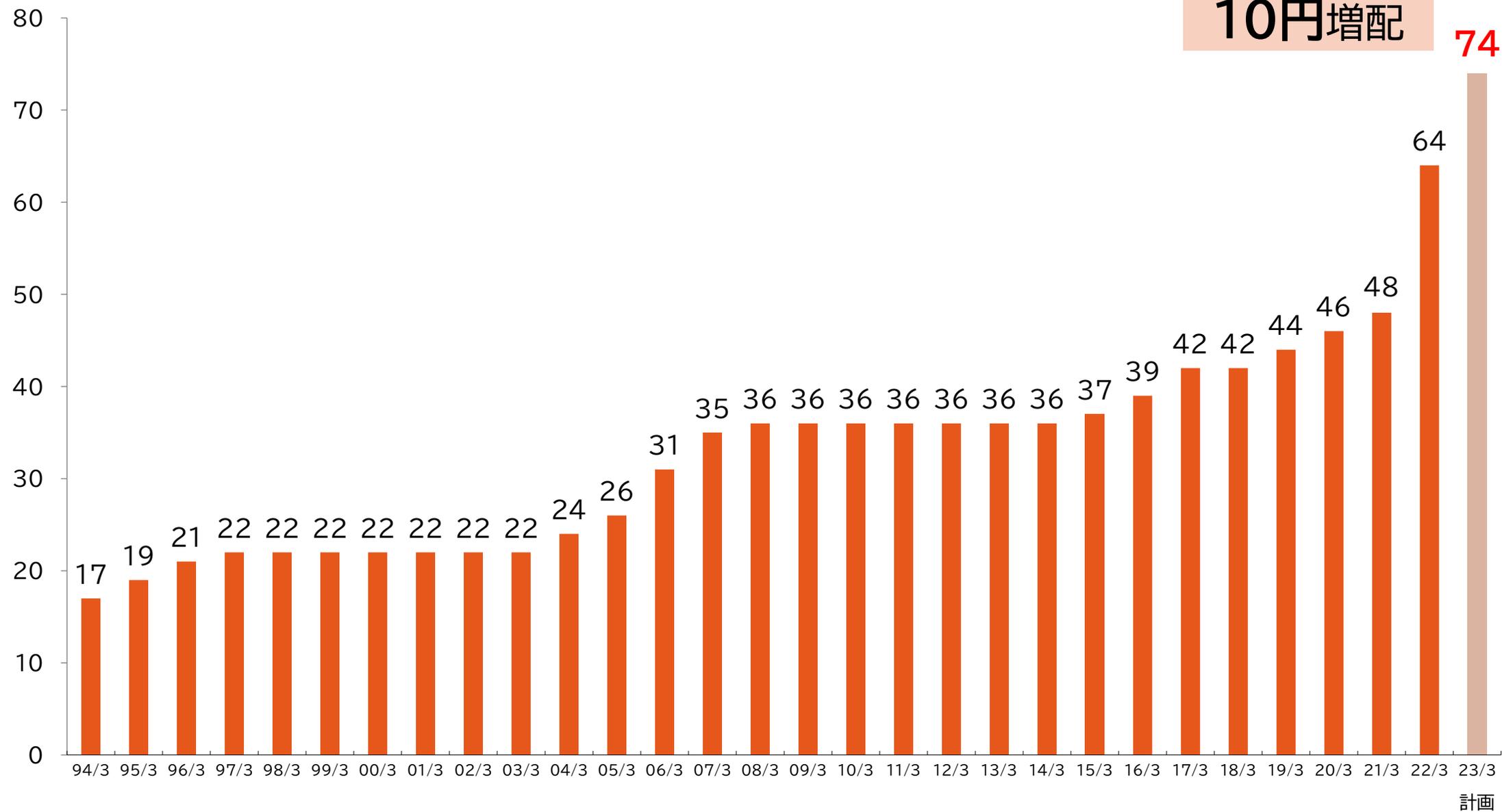


※2005年3月期までは単独ベースです。

配当政策 1株当たり配当金

24

(単位:円)



10円増配

74

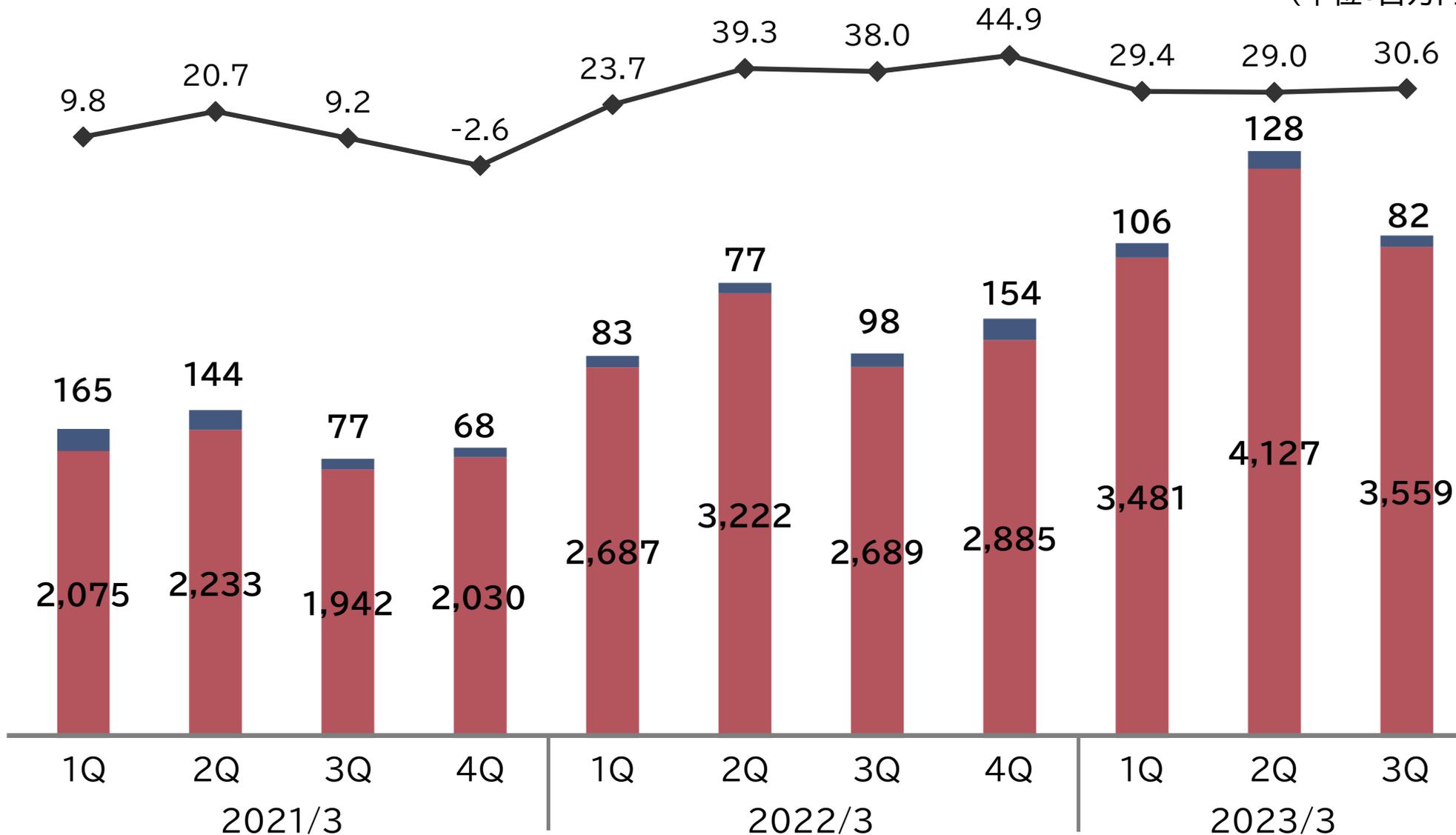
計画

參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

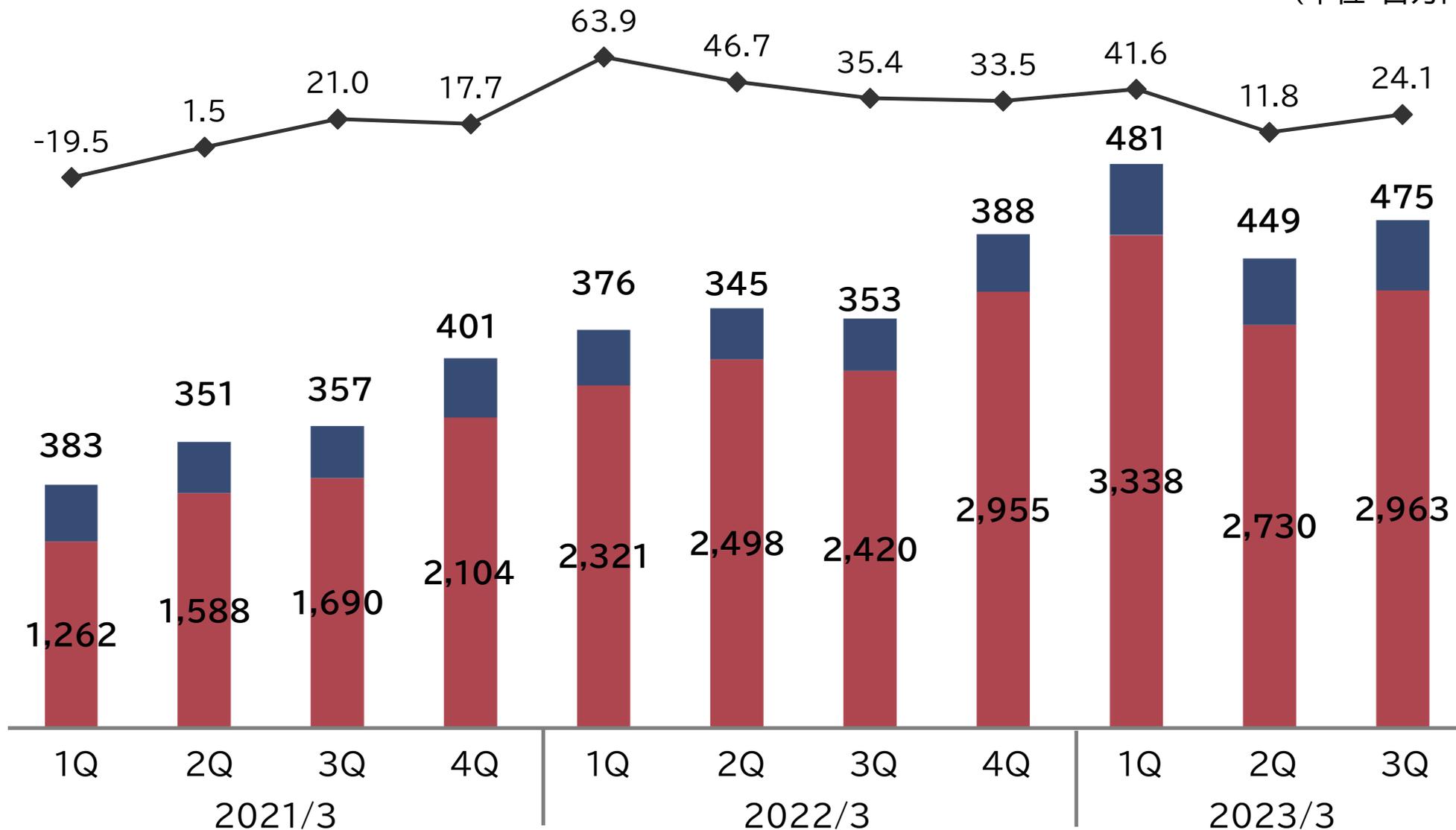
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

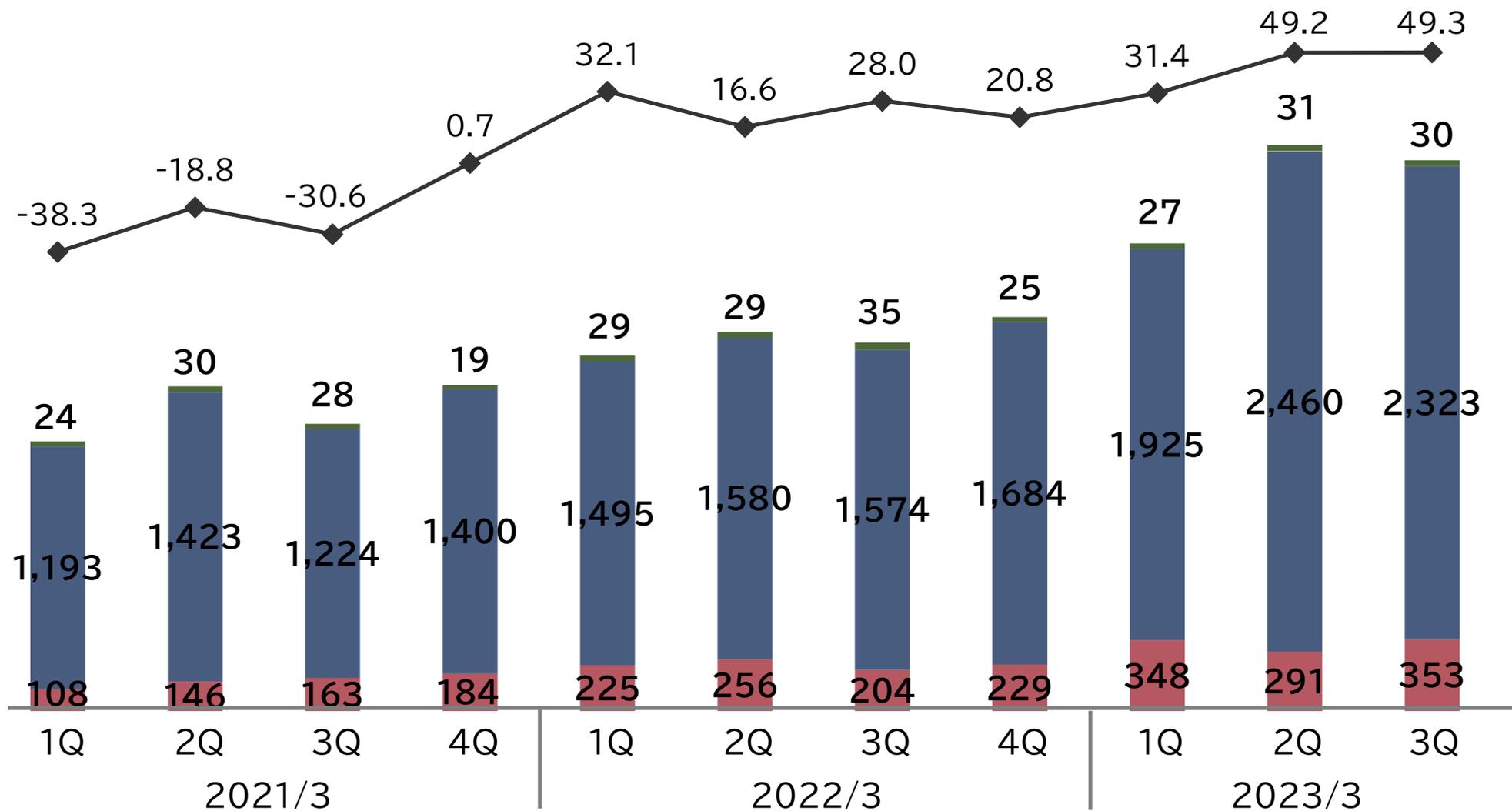
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)

- インダストリアル機器部門 売上高
- オフィス機器部門 売上高
- HCR機器部門 売上高
- アジア売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

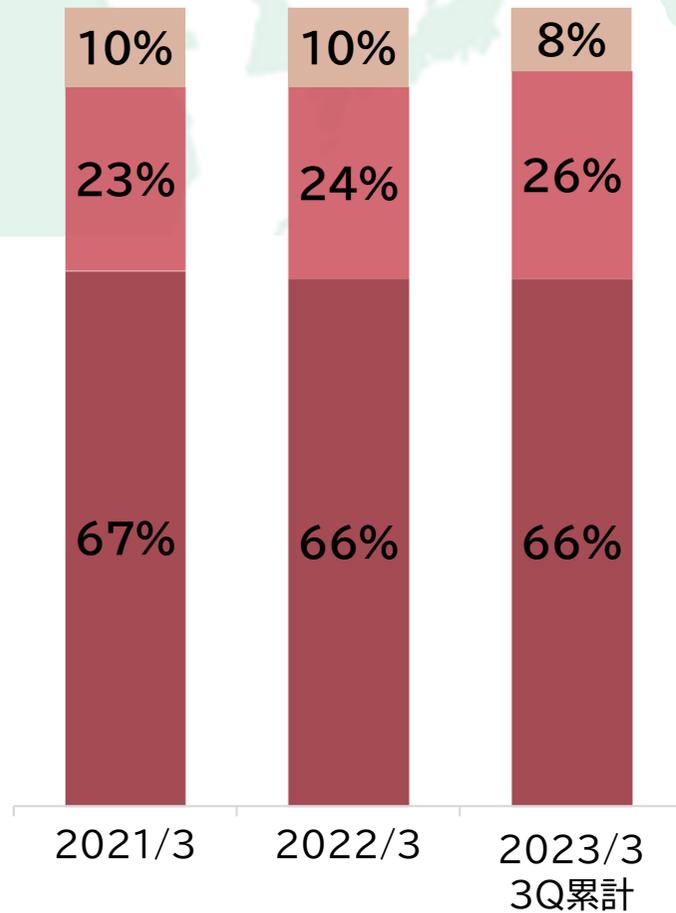
タイムレコーダ



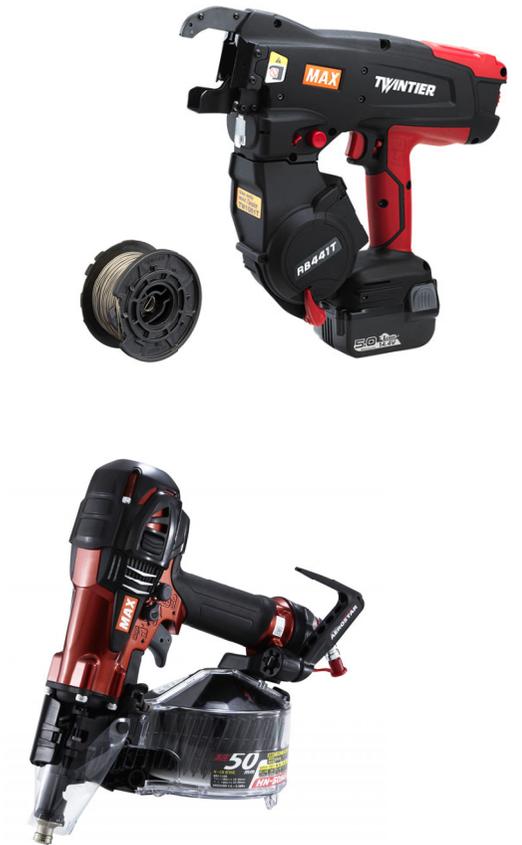
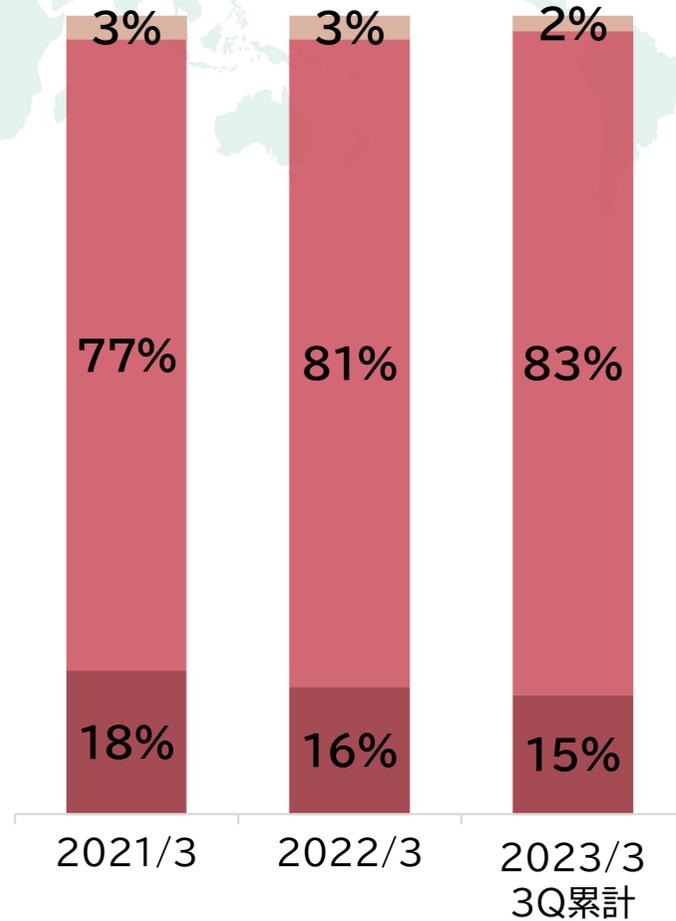
筆耕



国内機工品事業 製品内訳

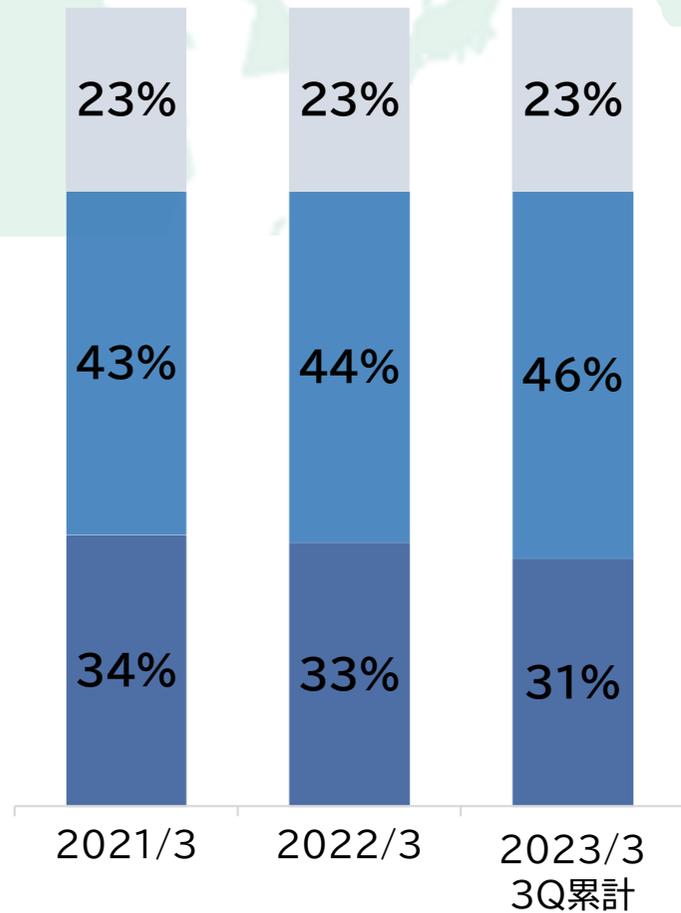


海外機工品事業 製品内訳

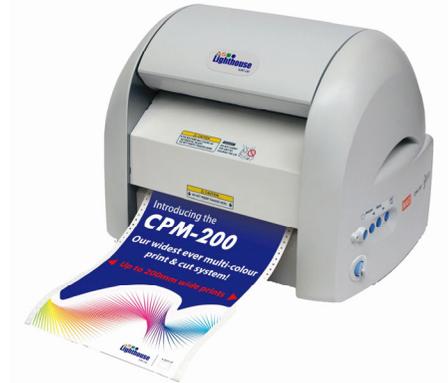
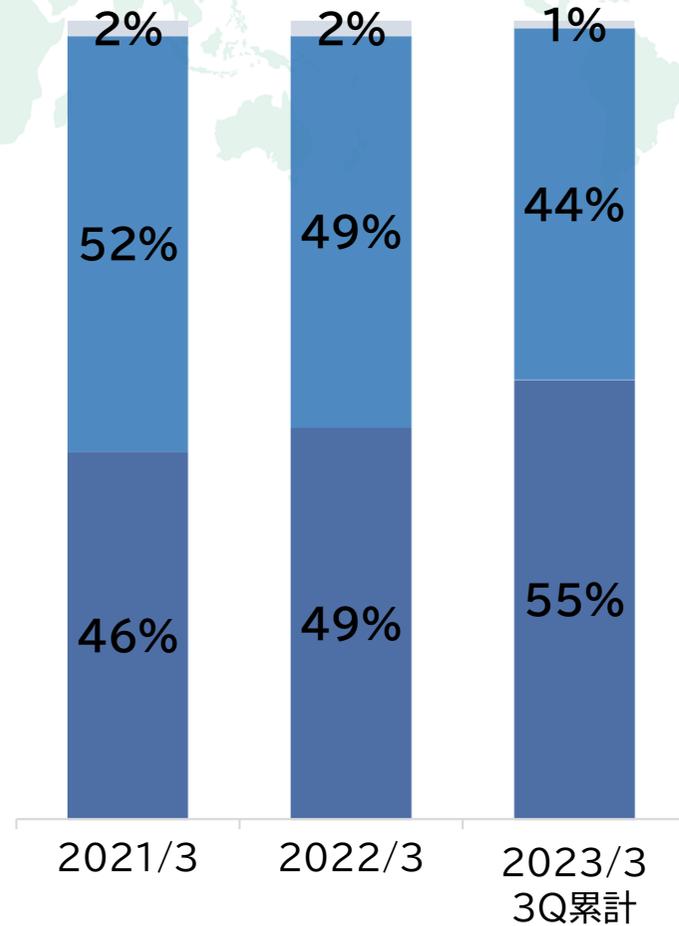


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業 製品内訳



海外オフィス事業 製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The slogan "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two curved, orange, brushstroke-like lines that sweep upwards from the bottom and outwards to the sides.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。